

BE YOUR  
NEW  
STORY

# PEACH LIVE

2021  
Summer

Vol.25

PEACH LIVE

Special Feature

## 奄美群島 Amami Islands

奄美大島 / 徳之島 / 喜界島  
加計呂麻島 / 沖永良部島  
与論島 / 与路島 / 請島

Amami Oshima, Tokunoshima, Kikaijima,  
Kakeromajima, Okinoerabujima,  
Yoronjima, Yorojima, Ukejima

楽園の島々を巡る  
Touring the Islands of Paradise

立ち寄ったお店の常連さんとの会話、偶然目にした景色、精巧で美しい工芸品——。  
旅先では、日常とはちょっと違う新しい出会いが待っている。

さあ、次の旅であなたは何に出会う？

## PEACH LIVE

Vol.25

### CONTENTS

#### Special Feature

## 奄美群島

### Amami Islands

- 10 **楽園の島々を巡る**  
Touring the Islands of Paradise
- 22 **そこらじゅうにいるかも  
伝説のケンムンと仲間たち**  
Legendary Kenmun  
and His Friends Everywhere?
- 24 **奄美群島の住民が教えるツウな旅**  
People in the Amami Islands
  
- 02 **機内がもっと楽しく便利に！  
機内デジタルサービス**  
How to Use In-flight Digital Service
- 26 **機内デジタルサービスで  
フライト中も奄美を感じよう！**  
Feel the Air of Amami  
with In-flight Digital Service!
- 36 **Peach 路線図・編集後記**  
Peach Route Map / Editor's Note

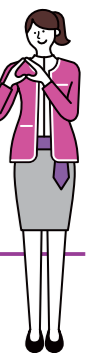


#### ATTENTION PLEASE!!

PEACH LIVEのオンライン版には、旅に役立つ情報が盛りだくさん。動画やアクティビティ詳細、ショップ情報などを、ぜひ併せてお楽しみください。

フライト後は **PEACH LIVE** で検索！

なお、本誌は機内での閲覧専用なので、お持ち帰りをご遠慮ください。





機内がもっと楽しく、便利に！

# 機内デジタルサービス

スキャンしてアクセス！  
機内デジタルサービスでできること

機内食の注文

交通や施設のチケットの購入

旅を彩るグッズの購入

フライトマップの閲覧

動画コンテンツの視聴

機内デジタルサービスの取り扱い商品・内容については、予告なく変更の可能性がありますのでご了承ください。



## ご利用の手順

機内デジタルサービスは、離陸約5分後から着陸約10分前までご利用になれます。

※状況によりご利用にならないこともございます。またアクセスが集中するとつながりにくい場合がございます。ご了承ください。

<p>離陸中</p> <p>機内モードON</p> <p>Wi-FiOFF</p>	<p>飛行中</p> <p>機内モードON</p> <p>Wi-FiON</p>	<p>着陸中</p> <p>機内モードON</p> <p>Wi-FiOFF</p>	<p><b>⚠️ 注意事項</b></p> <p>スマートフォン・タブレットは、<b>出発前、ドアが閉まる前までに「機内モード」</b>※1に切り替えてください。</p> <p>※1 「セルフモード」「電源OFFモード」「オフラインモード」「フライトモード」「パーソナルモード」の場合もございます。</p>
---	--	---	---

## 接続手順

**iPhone・iPad**

- (設定) を選択
- (Wi-Fi) を選択
- (Wi-Fi) をオン
- <OO-peach1>または<OO-peach2>を選択  
※OOには機材によって異なる数字が入ります。

**Android**

- (設定) を選択
- (Wi-Fi) を選択
- (Wi-Fi) をオン
- <OO-peach1>または<OO-peach2>を選択  
※OOには機材によって異なる数字が入ります。

または

QRコードをスキャン

ブラウザを開き、URL欄に<inflight.flypeach.com>を打ち込み、読み込む

※「このアクセスポイントはインターネットに接続していません」等の警告が出た場合も5の操作を続行してください。

ポータル表示

## 接続できない場合

接続はプライベートではありません

この接続ではプライバシーが保護されません

この接続ではプライバシーが保護されません

**それでもできない場合は・・・?**

ブラウザの下記の設定をご確認ください。

**Cookies** 受け入れる

**Java Script** 有効

または

端末を再起動してください。

※お使いの端末およびソフトウェアのバージョンによっては本サービスをご利用にならない場合がございます。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>ご利用上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本サービスは、インターネットへアクセスするものではありません。</li> <li>● 動画の視聴には時間を要する場合がございます。またアクセスが集中するとつながりにくい場合がございます。</li> <li>● 安全上、その他の理由により、本サービスを停止する場合がございます。</li> <li>● 動画をご視聴の際は、イヤホンをご接続してお楽しみください。</li> </ul> | <p><b>セキュリティ情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● このサービスは無線LAN技術を使用しております。そのため公衆アクセスが可能となる無線LANスポットの使用と同様に、本サービスのアクセスには通信傍受や不正アクセスの危険性があることをご理解ください。</li> <li>● お客様の都合に応じて、本サービスの用途に合ったセキュリティ対策を講じることはお客様の責任となります。あらかじめご了承ください。</li> </ul> |
|---|--|

Peachから生まれた旅のロコミサイト

# tabinoco

誰かの旅が、あなたの旅のヒントになる  
あなたの旅が、誰かの旅のヒントになる

ガイドブックの情報だけじゃ分からないリアルな体験を紹介し合う  
「みんなで作る旅の小ネタ帳」のような Web サイトです。

みんなの旅の記録はコチラ→



PEACH LIVE

## あなたの旅がもっと楽しくなる！3つの機能

1

マップ機能



定番スポットはもちろん、地域の特色あるカテゴリから、tabinocoに投稿された人気のロコミスポットまで旅先で使える現地情報が満載。

2

旅をさがす



検索バーに気になるキーワードを入れて検索してみよう！きっと次の旅のヒントが見つかるはず。

3

旅を投稿する



あなたのおきおきの旅の体験をシェアしてください！あなたの旅の思い出が、誰かの旅のインスピレーションに。

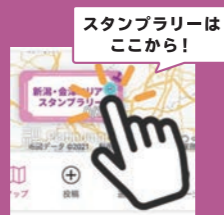


ピーチポイントが当たる  
スタンプラリー実施中！

～2021・09・30（木）まで

観光スポットを回ってデジタルスタンプを獲得するとピーチポイントが当たるルーレットがまわせます！

※スタンプラリー実施エリア：  
新潟・会津若松、宮城、ひがし北海道、奄美  
詳しくは tabinoco をご覧ください。



スタンプラリーは  
ここから！

奄美の自然音が楽しめる  
「音マップ」公開中♪

大島紬（つむぎ）の機織りの音、マングローブをめぐるカヤックの音、滝の音など奄美ならではの自然音が楽しめます。目を閉じて聞くと、まるで奄美の大自然の中にいるような感覚になります。  
ぜひ、お楽しみください！

※画面左上の MENU から音マップを選んでください。



「音マップ  
(自然音)」を選択

Peach の公式カード  
**Peach CARD**

Peach の旅をちょっぴりお得に。



カードの  
入会はこちら

新規入会で最大**2,000**円分のピーチポイント進呈  
カード会員だけが参加できる航空券セールを最大年**4**回実施  
カード会社ポイントを**高還元率**でピーチポイントに交換可能

**特典満載の Peach CARD 新規入会受付中！**



PEACH LIVE



# TOURING THE ISLANDS OF PARADISE

One day in May 2021, I learned on the news that UNESCO advisory panel recommended Amami Oshima and Tokunoshima be registered as a World Natural Heritage site. The flora and fauna thriving in the unique environment, and the sparkling blue sea... Being hungry of the smell of nature, I immediately left for Amami Oshima to dive into the grandeur of the islands.

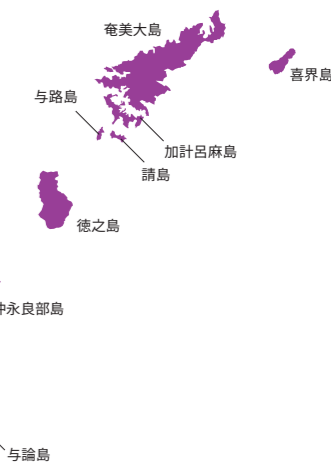
## 楽園の島々を巡る

2021年5月、奄美大島、徳之島の世界自然遺産への登録勧告がニュースになった。独特な環境によって育まれ、力強く生きる動植物、そして青く輝く海……。自然の匂いに飢えていた私はそんな雄大な景色に飛び込みたくって、早速奄美群島へと向かった。

Photography = Takehiro Goto

PEACH LIVE ウェブサイトで  
スペシャルムービーを公開中！  
美しい風景の中で、奄美の島々の魅力を  
地元の人々が語ります。  
本誌のストーリーと合わせて  
お楽しみください。

A special video is now available  
on the PEACH LIVE website!  
The locals will tell you what they like  
about the Amami islands, surrounded  
by beautiful scenery. Please enjoy it  
along with the stories in this magazine.



奄美群島は有人島が8島あり、およそ10万人が暮らしている。写真は加計呂麻島で撮影。奥の方にうっすら奄美大島が見える。

Amami Islands have eight inhabited islands and a population of about a hundred thousand. I took this photo in Kakeromajima. Amami Oshima is faintly visible in the background.



## 緑生茂る動植物の楽園へ

奄美空港から車を走らせる。ウィンドーを下げ、海の匂いと南国の島らしい湿った風を味わった。奄美市を横目に通り過ぎ、さらに南へ。徐々に民家や建物が減り、背の高い木や草が道路の両脇を覆い始めると、モコモコとしたブロッコリーのような山々が近づいてきた。奄美大島といえば青い海のリゾートという印象があったが、この旅でまず出会ったのは深い緑色だった。

「この島は南に行くほどに山深くなるんです。湿った空気が山にぶつかって雲がたまるので、実は雨も多いんですよ。だから、植物の成長スピードが驚くほど速い！それが動物たちの安全なすみかとなっているんですね」

教えてくれたのは、奄美大島に生まれ育ったガイドの米田みのりさん。1200万～500万年前に大陸から分離し、亜熱帯照葉樹林に覆われた奄美大島と徳之島には、すでに大陸で絶滅してしまった種が固有種として生き延びている。そのほか、長い間ほかの島と交流がなかったことが影響し、独自に進化を遂げた生物もまた多数。いくなれば、ここは動植物のパラダイス。世界的に重要な生物多様性が育まれ続けている。

すると、ヒョロロロロロ……という音が。「あ、リュウキュウアカショウビンの声だ。もう夏ですねえ」と米田さん。初夏に沖縄の方からやってくる、名前のとおり真っ赤な色をした渡り鳥だそう。「あそこ！」と指された方に目を向けたが、もう姿はなかった。その後も「またいた！」「次はあっち！」と指示され、何度目かできるよう飛んでいる姿をとらえた。島の人たちは自然の変化に敏感だなあ。聞けば、普段から動植物の様子や雲の形のことが話題にあがり、それによって季節の移ろいを感じることも多いという。そんな何気ない日々のお話が妙に染みて、いっそう奄美の島々と人のこと、自然のことが、知りたくなってきた。

## To a lush paradise of flora and fauna

I drove from Amami Airport. With the windows down, I appreciated the smell of the sea and the moist breeze of a tropical island. I just passed through Amami city and drove further south. With less and less houses and buildings, I found tall trees and dense bushes covering both sides of the road. Then, came the broccoli-like mountains. I had the impression that Amami Oshima was a resort with blue waters, but the first thing I encountered on this trip was the color of deep green.

"The further south you go, the more mountainous the island becomes. The mountains receive humid air and accumulate clouds. It actually rains a lot here, which makes the plants grow incredibly fast! This, in turn, provides a safe place for animals to live," said Minoru Yoneda, a tour guide born and raised in Amami Oshima. Amami Oshima and Tokunoshima, which were separated from the continent 12 to 5 million years ago and are covered with subtropical broad-leaved evergreen forests, are home to endemic species that have already become extinct on the continent. In addition, there are many other species that have evolved uniquely due to the lack of interaction with species in other islands for a long time. The islands are a paradise for plants and animals, contributing to biodiversity of global importance. Then, I heard something say hyololololo. "Oh, the Ryukyu ruddy kingfisher. Summer has come," Minoru said. As its name suggests, ruddy kingfishers are red migratory birds that fly from Okinawa in early summer. "Over there!" Minoru said. I immediately looked at where she pointed, but it was already gone. After several times of "There it is!" I finally caught a glimpse of the flying bird. Peoples in the island were very sensitive to changes in nature. Minoru told me that they often talked about plants, animals, and the shape of clouds, which let them feel the changing of seasons. Moved by how they live their everyday lives, I thought I wanted to know more about the people and the nature in Amami.



左ページ／桜に似た白い花が玉のようになって咲く、かわいらしいサクラン。右ページ・左上／奄美にすむと信じられている妖怪・ケンムン。いいヤツとも、悪いヤツともいわれ、さまざまな伝説が伝わる。右上／ガイドしてくれた米田さん。シマ唄の唄者としても活躍する。下／宇検村にあるアランガチの滝。夏、大人はここで涼み、子どもは水遊びをする。

left page: A lovely waxplant with white cherry-like flowers blooming in a ball. / right page, upper-left: Kenmun, a yōkai believed to live in Amami. He is a good boy in some legends and a bad boy in others. / upper-right: Minoru Yoneda, the tour guide. She is also a shima-uta singer. / below: Arangachi Waterfall in Uken village. In summer, people cool themselves here and let their children play in the water.







KAKEROMAJIMA  
加計呂麻島



上／加計呂麻島の奥久で休憩中に目にした一コマ。奥に見えるのは“実久ブルー”と呼ばれる海。左下／鮮やかなオレンジ色のデイゴの花。見頃は初夏だが、まだ少しだけ残っていた。右下／与路島は8島の中で最も静かな場所だった。道に沿ってサンゴの石垣がびっしり並ぶ。

above: A scene I saw while taking a break in Saneku, Kakeromajima. The color of the sea in the background is called "Sane-ku blue." / lower-left: "Deigo", bright orange flowers of a coral tree. They are at their best in early summer, but there were still a few left. / lower-right: Yorojima was the quietest place of the eight islands. Coral stone walls were lined up along the road.

YOROJIMA  
与路島



右／請島で出会った笑顔が素敵な女性。素潜り漁をしていた。左／「自分たちで食べる用なの」と見せてくれたマガキガイ。地元の人はテラダと呼ぶ。モズクも採っていた。

right: A woman with a nice smile I met on Ukejima. She was diving for fish. / left: "For ourselves to eat," she said, showing the shellfish. The locals call them "Terada." They were also collecting Mozuku seaweed.



UKEJIMA  
請島

島民が営む穏やかな生活

「加計呂麻島には、奄美の原風景がありますよ」  
そんな米田さんの言葉に従って、古仁屋のフェリー乗り場へ向かう。日曜だからか、早朝にもかかわらず意外と人が多い。「フェリーかけろま」に揺られ、わずか20分で加計呂麻島の瀬相港へ到着。下船の列に並んでいるとき、赤い色をした葉が印象的な大きな花束を抱えた女性2人組と目が合った。「きれいですね」と声を掛けると、クロトンという植物だと教えてくれた。

「お友達のお墓参りなの」

奄美の人は毎月2回、旧暦の1日と15日にお墓参りに行く。故人やご先祖様を大切にすることを奄美の人々の習慣への感心と同時に、ちょっとしたばつの悪さが込み上げる。奄美の文化や自分の生活について考えながら島中を巡ったが、所々で出会う壮大な景色のおかげか、前向きな気持ちでそれらと向き合えた気がした。

静かで穏やかな加計呂麻タイムを堪能したら、隣の小さな2つの島も気になってきた。「ウケ・ヨロ」と呼ばれる請島と与路島は、「加計呂麻島の時をさらに遡った雰囲気」らしい。一旦奄美大島に戻り、小型ボートでまずは請島へおよそ40分、そして与路島へ20分。酔い止め薬を飲み、揺れに耐えながら向かった先には、旅行者らしき人影は一切なかった。部外者が歩いているのが申し訳ない気持ちになるような、小さな集落があるのみ。

「一体、何のお仕事なんですか？」とボートの運転手のおじさん。ここには郵便局員や研究者など仕事の都合で来る人たちがほとんどで、私がそう見えなかったから、とのことだった。「ただ行ってみただけ」と伝えると、珍しい人だと驚いて笑われた。

「じゃあせっかくだから、特別に夕日が見える西回りのコースで古仁屋に戻りましょうか」

そう言っておじさんはボートを走らせた。

Peaceful lives of the islanders

"If you go to Kakeromajima, you can see the landscape of Amami in the original state," Minori said. Following her advice, I headed for the ferry terminal in Koniya. There were surprisingly many passengers even though it was early in the morning, probably because it was Sunday. In only twenty minutes, Ferry Kakeroma arrived at Sesō Port in Kakeromajima. While I was standing in line to get off the ferry, my eyes met with those of two women carrying a large bouquet of flowers with striking red leaves. "Beautiful," I said to them, and they told me that the plant with the red leaves was called Croton. "We're visiting our friend's grave."

People in Amami visit graves twice a month, on the 1st and the 15th of the lunar calendar. I felt a bit awkward but was soon filled with admiration for their custom of respecting the deceased and their ancestors. I walked around the island with a lot of things in my mind, but was somehow able to stay in a positive and cheerful mood throughout. It might be because of the magnificent scenery I encountered here and there.

After enjoying the tranquil Kakeroma time, I became curious about the two small neighboring islands. People said that the atmosphere of Ukejima and Yorojima, together called by the name "Uke Yoro", would make me feel as if I traveled further back in time. I went back to Amami Oshima and took a forty-minute ride on a small boat first to Ukejima, and then another twenty-minute ride to Yorojima. Enduring the pitching of the boat with the medicine for seasickness, I arrived at a small village with no one who looked like a tourist. I felt a little sorry for that an outsider like me was wandering around it.

"What do you do for a living?" The driver of the boat asked me. He said that most of the people coming to the island were postal workers and researchers and I didn't look like one. When I told him that I came to the islands for no reason, he seemed to be surprised at my answer but smiled.

"Well, then let's take a special route back to Koniya. I want to show you the beautiful sunset," the driver said and headed westward.

## サンゴでできた島の個性

ひたすら続くディープブルーの海の向こうに、淡く輝く水色が見えてきた。こんなにもはっきりとしたリーフエッジ（外洋と浅瀬との境目）は見たことがない。くぎ付けになり、窓に張り付くように外を眺める。まもなく与論港へ入港だ。

到着すると大金久海岸<sup>おおがねく</sup>に向かい、ボートで魚たちに会いに行った。ウミガメにも何度も遭遇し、そのたびに乗り合わせた人たちと一緒にワァ！と歓声を上げる。そんな私たちを笑顔で見守るボートのオーナーに島について尋ねると、「そうだなあ……、海しかないね（笑）」。この海こそが一番の宝。そういうことだ。

隣の沖永良部島にも美しいビーチはたくさんある。その数は100とも、150とも。どうやら地元の人それぞれ、旅行者が知らない自分だけのお気に入りビーチをもっているようだ。だが、私は島の内側に足を運ぶことにした。島の地下には、無数の鍾乳洞<sup>しょうりゅうどう</sup>が網の目のように張り巡らされていると聞いたのだ。国内最大級の「昇竜洞<sup>しょうりゅうどう</sup>」に一步踏み入れる。すると、全身がひんやりとした空気に包まれた。地下水がサンゴ石灰岩を溶解し、一滴一滴の滴によって生み出される自然の彫刻は、3年で1mmしか成長しないらしい。自然の営みの奥深さを感じながら歩みを進めていった。

冒険気分はそのままに次は喜界島を訪れ、“渡りチョウ”のアサギマダラ、アオスジアゲハなど、見たことのない蝶たちに出会った。静かな森をたくさんの蝶がひらひらと舞う光景は、まるでファンタジー。次に訪れるときは、日本最大級といわれるオオゴマダラを見たいな。獲物を逃したハンターになったようなちよつと悔しい気分で、“チョウの島”を去った。

与論島、沖永良部島、喜界島はサンゴが隆起してできた島。奄美大島や徳之島とは違い、固有種は少ないのだが、各島のユニークな魅力を知ることができたことに満ち足りた思いだった。

## Unique islands made of coral

Beyond the deep blue of the sea which was thought to be endless, I saw the color of light blue, faintly shining. I'd never seen such a clearly visible reef edge [a border between the open sea and the shallow water]. As if I were stuck to the window of the ferry, I looked out at the light blue water. The ferry was to arrive at Yoron Port. Getting off the ferry, I went to Oganeku Beach and rode a boat with some other people to see lovely fish. We also encountered sea turtles several times. Each time we did, we exclaimed in delight. When I asked the owner of the boat, who was watching us with a smile, about the island, he said "Well ....., there's nothing but the sea," and laughed. The sea is the greatest treasure. That's what I think he meant.

Okinoerabujima, the island next to Yoronjima, also has a lot of beautiful beaches. Maybe a hundred, maybe more. Apparently, the locals had their favorite beaches which tourists had no information of. However, I decided to go to the inner area of the island. Someone told me that there were countless limestone caves spreading underground like a web. I felt the cool air as soon as I stepped into Shōryudo, one of the largest limestone caves in Japan. The ground water dissolves the coral limestone, and the dissolved limestone drops one by one to form a natural sculpture, which only grows one millimeter in three years. I walked on, feeling the profound work of nature.

With the sense of adventure, I next visited Kikaijima, where I encountered the "migratory butterfly" Asagimadara, Aosujiageha, and many other beautiful butterflies I had never seen before. As I watched those butterflies fluttering in a quiet forest, I felt as if I were in a fantasy film. I couldn't find Ōgomadara, one of the largest butterflies in Japan. Maybe next time. Feeling like a hunter who missed his prey, I left the "island of butterflies."

Yoronjima, Okinoerabujima, and Kikaijima are islands formed by the uplift of coral reefs. Although they didn't have many endemic species like Amami Oshima and Tokunoshima, I was happy to experience the unique and attractive atmosphere of each island.



左ページ／高い建物も山も、街の明かりもない与論島は、星空観測に最適。右ページ・上／海の透明度が抜群だった大金久海岸。奥に見えるのは、リーフエッジ付近に堆積した砂によって偶然出現した浜。下／大金久海岸ではウミガメにも出合える。

left page: Yoronjima with no tall buildings, no mountains, and no city lights, is perfect for stargazing. / right page, above: Oganeku Beach with unbelievably clear waters. The beach in the distance emerged by chance as a result of accumulation of sand near the reef edge. / below: You can see sea turtles at Oganeku Beach.





沖永良部島のソテツジャングルには、チョウや蜂などの昆虫も多く生息していた。上から見るとソテツはまるで緑の花のよう。  
 I saw many insects such as butterflies and bees in the sycad jungle in Okinoerabujima. Viewed from above, the cycads look like green flowers.

上／沖永良部島の昇竜洞は、日本鍾乳洞9選のうちの一つ。左中／100年以上前、地元の人が難破したイギリス船を助けたことをきっかけに栽培が始まったエラブユリ。右中／沖永良部島の北西部に位置し、東シナ海に突き出している田舎岬。高さ51mの断崖絶壁なので訪れる際は足元に注意。下／沖縄から東北まで2000kmを旅する“渡りチョウ”として知られるアサギマダラ。喜界島では4～5月、10～11月に多く見られる。

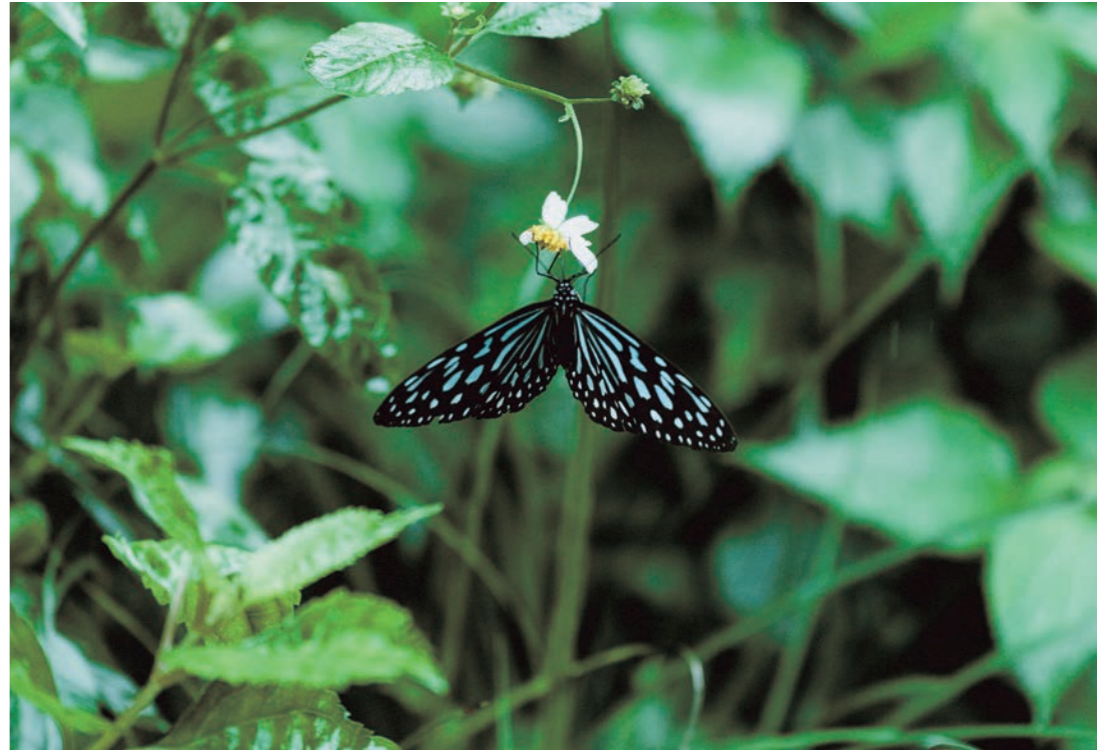
above: Shōryudo Cavern in Okinoerabujima is one of the nine best limestone caves in Japan. / middle-left: Erabu lilies were first planted more than 100 years ago after the people in Okinoerabujima saved a wrecked British ship. / middle-right: Cape Tamina, located in the northwest part of Okinoerabujima, juts out into the East China Sea. Be careful when visiting the cliff which is 51 meters high. / lower-left: Asagimadara is known as a "migratory butterfly" which travels 2000 km from Okinawa to Tohoku. A lot can be seen on Kikajima in April, May, October, and November.



OKINOERABUJIMA  
**沖永良部島**



KIKAJIMA  
**喜界島**





上／牛を連れて歩く男の子。手慣れた様子だった。中／およそ400年続いている亀津浜踊り。若者から年配者まで交じり、伝統を絶やさぬよう練習している。旅行者が参加できるプログラムもある。下／徳之島空港近くの景勝地、犬の門蓋。季節風や荒波によって長年かけて浸食された断崖・奇岩が点在している。

above: A boy with a bull, so confident in taking care of it. / middle: Kametsuhama dance has a history of about 400 years. People in the island, young and old, practice the dance to pass down the tradition to future generations. There are also programs which tourists can join. / below: Inno Jōfuta, a scenic spot near Tokunoshima Airport. It is dotted with cliffs and oddly-shaped rocks resulting from long-time erosion by seasonal winds and rough waves.



ムシロ瀬で出会ったイソヒヨドリ。鮮やかな青色はオスで、メスは茶色い色をしている。

A blue rock thrush I encountered at Mushiroze. Males are bright blue, while females are brown.

### 闘牛の闘争心と純真さ

いよいよ8島目、奄美大島の次に面積が大きな徳之島へ。北部から中央部の山間部には数々の動植物が生息し、冬の海にはクジラがやってくる。そんな生物相豊かな地ではあるが、徳之島と聞いてまず思い浮かぶのは「闘牛」だろう。およそ400～500年前に、地元民が税として納めるためのサトウキビの収穫を祝い、娯楽として始まったといわれている。伝統文化とはいももの、現代の島の人の生活にとってどれほど身近なものなのだろうか？ そんな疑問とともに、闘牛大会の会場である「なくさみ館」の方向に車を走らせてみた。

すると、早速目に飛び込んできた。家の庭にロープでつながれた巨大な牛。夢中で見ていたら、道の反対側から小学生ぐらいの男の子が2人、牛を引っ張って歩いてきた。ご両親の牛かと聞くと、「僕が牛の世話をしてるんです」と、甘く見るなよと言わんばかりの返答。すでに牛主としてのプライドが備わっているようだ。後について闘牛場に入ると、また別の牛2頭が顔を近づけてにらみ合いを繰り返していた。こちらもすごい迫力。

「毎日このくらいの時間集まって、練習して、帰っていく。この地域に限らず全島でやってますよ。徳之島は闘牛の島だから」近くで見ていたおじさんが教えてくれた。その言葉のとおり、闘牛文化の継承者にはその後島のあちこちで会った。みんな親切に牛のことを話してくれたが、中でも「闘牛がなかったら俺は徳之島にはいない。牛がすべて」と言っていたとある牛主さんの、真っすぐすぎるまなざしが忘れられない。純真な思いに触れて、自分の心も晴れわたる心地がした。

この旅で出会った、後に世界遺産になるだろう奄美の大自然。そして、その大きさと美しさを体現したような人々と過ごした温かな時間は、私の心にもみずみずしさを与えてくれた。

### Fighting spirit and pure heart in bullfighting

I finally arrived at the eighth island, Tokunoshima, which is the second largest after Amami Oshima. The mountainous area expanding from the north to the center of the island is home to a variety of plants and animals. In winter, whales show themselves in the sea around the island. Despite such rich biota, the first thing that comes to mind when you hear the name of the island is probably "bullfighting." It is said that bullfighting started about 400 to 500 years ago as an entertainment for the locals to celebrate the harvest of sugar cane for paying taxes. How close is this traditional culture to the real lives of the people in the island today? With this question in mind, I drove toward Nakusami-kan, the venue for the bullfighting tournaments.

Soon, I found a huge bull tied to a rope in the yard of an ordinary house. While my eyes were glued to it, two boys of elementary school age came walking from the other side of the road, pulling a bull. I asked if it was their parents'. "We take care of it," they replied in a tone as if they were telling me not to underestimate them. They already had the pride of bull owners. I followed them into the bullfight arena, and saw two bulls staring at each other, head to head. It was a truly exciting battle.

"Every day, we meet here at about this time, practice, and then go home. This is not peculiar to the people in the area. The whole island is like this. Tokunoshima is the island of bullfighting," said a man who was watching the match nearby. As he said, I met many inheritors of the bullfighting culture all over the island. They were all kind enough to tell me about their bulls. "If it were not for bullfighting, I wouldn't be living in Tokunoshima. Bulls mean everything to me," one of them said with unforgettable earnest eyes. I was touched by his pure heart and felt my own one clear up. The great nature of Amami which I encountered during this trip must later become a World Heritage. It made me feel refreshed and gave me precious memories with the people who lived in and embodied the grand and beautiful Amami.

# LEGENDARY KENMUN AND HIS FRIENDS EVERYWHERE?

## そこらじゅうにいるかも 伝説のケンムンと仲間たち

妖怪か精霊か、さまざまな聖なる生き物が信じられている奄美群島。そっと辺りを見回してみたら、意外と近くにいるかもしれない。不思議な出会いへの期待も、奄美旅の醍醐味のひとつ。

Are they yōkai (Japanese monstrous creatures) or fairies? In Amami Islands, people believe in various holy creatures. Just look around, and you may be surprised to find one right beside you. A possible encounter with wonders is one of the most exciting things in a trip to Amami.

Illustration = Saki Matsumoto



### a 奄美で最も愛される ケンムン

奄美大島や徳之島を中心に信じられている妖怪。ガジュマルの木をすみかにするといわれ、各所に「ケンムンがすんでいる」と伝わる木がある。人と相撲を取ることや、漁が好き。姿はカッパに似ていて、膝を立てて座ると膝の位置が頭より高くなるほど脚が長い。「殺人を罰せられた人間が化け

#### Amami's most beloved creature Kenmun

Kenmun is a yōkai whom mainly people in Amami Oshima and Tokunoshima believe in. It is said that he lives in a banyan tree, and there are trees everywhere considered to be his home. Sumo wrestling and fishing are his favorite things to do. He looks like a Kappa (green human-like yōkai) and has such long legs that, when he sits hugging his knees,

### b 命を狙われないよう注意 カタキラウワ (片耳豚)

た鬼」や「陽気かわいらしいヤツ」など、集落ごとにさまざまな由来や伝説がある。島民の中には、ケンムンを見た、相撲を取った、という人もちらほら。「ウバトウイ」という名前のケンムンの弟とされる妖怪もいて、山や森の中で人を迷子にさせようと悪戯を働くといわれている。

they come above his head. Each village has its own legend of Kenmun. In one village, he is said to be an "oni (yōkai with horns) who used to be a human murderer", and in another, he is loved as a cheerful boy. Some people say they have seen him firsthand while others say they have sumo wrestled with him. He has a little brother named "Ubatou", who tricks people to make them get lost in the mountain or in the woods.

### c 運が良ければ仲間になれる!? イッシャ

奄美大島に伝わる子豚の妖怪で、片耳が欠損しているのが特徴。股の下をくぐられた人間は、魂を抜かれてしまう。もし命が助かったとしても、性器を損傷して一生ふ抜けになってしまうという恐ろしい言い伝えがあるので、両脚を交差させて通り道をふさごう。目撃情報は奄美市に多い。

#### Don't let it take your soul! Katakirauwa (one-ear pig)

Katakirauwa, a yōkai of a piglet with only one ear in folklore of Amami Oshima, takes your soul by running through between your legs. Even if you are lucky enough to be alive, your genitals and soul will be damaged for good. To avoid such a terrifying situation, let's just cross our legs so that it can't run through. It is mostly spotted in Amami city.

### d 海のしけを予兆 ザン

奄美群島や沖縄に伝わる、人間のような顔をもつ魚。奄美大島では、ザンが顔を出すと後に海が大荒れになるという伝説があり、目撃した人は船を急いで寄港させた。奄美群島ではジュゴンのことをザンノイユと呼んでいて、ザンの正体は動物のジュゴンであるともいわれている。

#### A sign of a storm at sea Zan

Zan or Zannoio is a legendary fish with a human-like face in Amami Islands and Okinawa. According to the folklore of Amami Oshima, emergence of Zan was thought to be a sign of a storm at sea, which made fishers hurry back to the harbor. As people in Amami Islands call dugongs by the name "Zannoio-yu", Zan may be a mere dugon.

### e 火事を引き起こす魔鳥 ヒザマ (火玉)

家に取りついて火事を引き起こすといわれる鳥の妖怪。特に沖永良部島では邪神として恐れられていて、姿が似ているという理由からニワトリを飼うことを好まない風習があった。空の瓶や桶につくといわれるので、これらの器を伏せたり水を張ったりして防ぐことが重要。

#### An evil bird setting fire Hizama (fire ball)

Hizama is a yōkai bird which is said to haunt a human house and set it on fire. Especially, people in Okinoerabujima fear it as an evil god, and they used to avoid keeping chickens for their resemblance. As Hizama seems to like staying in an empty bottle or bucket, it is effective to put it upside down or to fill it with water so that Hizama can't get in.

### f 姿を見せないシャイな子 ヤマンボ

奄美大島に伝わる、山にすむ子どもの姿の妖怪。地元民は昔、ヤマンボのために山の木の実をすべて拾い切らないようにしていた。普段は大木の根元に座っているが、人が近寄ると隠れてしまう。「うーい」と声を掛けると返事をする事から、奄美ではヤマビコをヤマンボと呼ぶことも。

#### A shy boy hiding himself Yamambo

Yamambo is a human-child-like yōkai in folklore of Amami Oshima. As he lives in the mountains, local people used to leave some nuts unpicked for him. He is sitting under a big tree, but hides himself when any human approaches him. But when you say "uoooyi", he returns the same greeting, which is why the locals sometimes call echoes "Yamambo".

### g 勝負で不正して入れ替わり 月と太陽の伝説

その昔、昼を照らす太陽と闇夜を照らす月は役割が反対だったという喜界島の言い伝え。太陽と月はシヤカナローの花を咲かせた方が勝者となる勝負をしたのだが、太陽が不正を働いてしまうのだった……。ドラマ「天国と地獄〜サイコな2人〜」のモチーフになったことでも知られる。

#### Cheating at the match to win the daylight role Legend of the moon and the sun

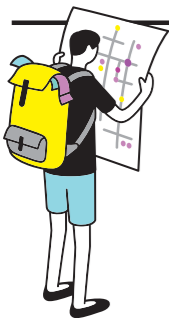
According to the folklore in Kikaijima, the sun now shining in the daytime and the moon now glowing at night once had opposite roles. They had a match: the one who gets the flower of Shiyakanaro bloom becomes the winner, and the winner gets to shine in the daytime. At the match, the sun cheated... The legend is also known as a motif in a Japanese TV drama.

# PEOPLE in THE AMAMI ISLANDS

## 奄美群島の住民が 教えるツウな旅

島の良さは、地元の人に尋ねるのがイチバン！  
地元民だからこそ知っている、観光地とは違う楽しみ方、  
お気に入りの場所など、奄美の島々の秘蔵のスポットをご紹介します。

If you want to know what's best about the islands, ask the locals!  
Let's see their favorite places  
and their own ways of enjoying life in Amami.

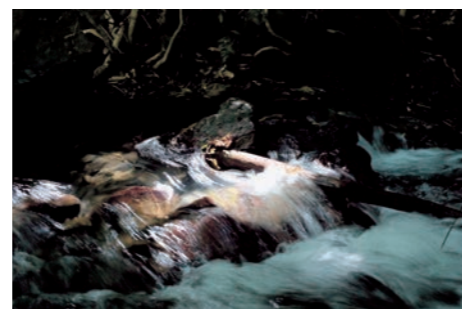


### 自然が奏でる音に 耳を澄ませて

私の一番落ち着く場所は、職場の染色工房（金井工芸）の洗いの工程で使用している川の上流。奄美大島は海のイメージが強いですが、川もとてもきれいで、さまざまな生き物に遭遇できます。鳥の鳴き声や川の流れる音が心地良く、録音をしたり、夏場は足を水につけてぼーっとしたりして過ごしています。奄美大島を訪れた際には、自然の景色はもちろんのこと“音”も存分に楽しんでほしいですね。

### Listen to the music of nature

I feel most relaxed in the upper stream of the river where we, the craftspersons of the dyehouse "Kanai Kougei", rinse the dyed yarns. Although Amami Oshima is known for the sea, it also has beautiful rivers, where you can find various creatures. The songs of the birds and the sound of the flowing river being so comfortable, I sometimes record them. In the summer season, I just put my feet in the water and empty my mind. When you come to Amami Oshima, enjoy not just its scenery but also its "sounds".



奄美大島を拠点に活動するビートメーカー。普段は染色家として伝統的な泥染めを行う（金井工芸）に勤めながら作曲活動を行う。2021年2月に自身の1stアルバム『gandhi』をリリース。

As a beat maker based in Amami Oshima, he composes music while working as a craftsperson of traditional muddye at "Kanai Kougei". His first album "gandhi" was released in February, 2021.



CHEAPWORD  
cheapWordさん

### 深い歴史を感じる 迫力の地層

海底地殻が海溝でぶつかり合い混ざり合うことで生じるメランジ堆積物。その約1億年前の地層に20万～12万年前のサンゴ礁が乗り、新旧の地層が重なって地表に現れた、徳之島の犬田布海岸はとってもユニークで不思議な景色です。それから、私の珈琲園にもぜひ遊びに来てください。森に囲まれた小さな農園で、五感でコーヒーを感じることができる国内では珍しいコーヒー豆作りの現場です。

### Feel the profound history of the island from spectacular strata

Collision and mixing of oceanic crusts formed mélange deposits about a hundred million years ago. A stack of the old stratum of such mélange deposits and a relatively new stratum consisting of coral reefs of one hundred and twenty thousand to two hundred thousand years old was uplifted to the Earth's surface, providing the unique and magical landscape of Inutabu Coast in Tokunoshima Island. After taking a walk along the coast, please visit our little coffee farm in the forest. It is a rare spot in Japan where you can experience coffee through all five of your senses.



HIROSHI  
MIYADE  
宮出博史さん

2007年から徳之島で国産コーヒー豆の栽培に取り組み、2017年に大阪から本格的に移住して宮出珈琲園を開園。現在はコーヒーの花、果実、葉などを使用したお茶などの生産にも力を注ぐ。

He began growing coffee trees in Tokunoshima in 2007, and finally moved from Osaka to settle in and open Miyade Coffee Farm in 2017. Ambitiously, he is now producing tea using flowers, berries, and leaves of coffee as well.

### 青空と海を 全身で感じる公園へ

よく晴れた日は、見晴らしの良い場所へ！喜界島の城久集落にあるトトロのバス停に車を止めて、トゥヌムトゥ公園まで歩いて上ってみてください。急な坂道を振り返ると、豊かなサトウキビ畑とキラキラ輝く水平線、そして奄美大島が眼下に広がります。童心に戻って、公園でブランコを思い切りこくと、青空と海にボンと投げ出されたようでドキドキ。日々の雑念がスーッと消えていきます。

### Embrace the blue sky and the sea in the park

On a beautiful sunny day, enjoy a breathtaking view! Pull up at the bus stop with an illustration of Totoro (a character in Japanese animation film) in Gusuku village, Kikaijima, and walk up the steep hill toward Tunumutu Park. When you reach the top of the hill, look back and take in the wonderful panorama of fertile sugar cane fields stretching to the sparkling horizon with Amami Oshima beyond it. In the park, recall your child-self and play on the swing. You may feel as if you were thrown out toward the blue sky and the sea. Such an exciting experience will eventually make your troublesome everyday thoughts disappear.



2020年にNAOさんの出身地、喜界島に夫婦でUターン。食糧ロスになっている島みかんとアジアのスパイスを使った無添加のクラフトコーラ「TOBA TOBA COLA」をスタートさせる。



KEITH & NAO  
KEITHさん&NAOさん夫妻

In 2020, the couple decided to move to Kikaijima, the hometown of NAO, and began making additive-free craft cola "TOBA TOBA COLA" using, together with Asian spices, native mandarin oranges to reduce food loss.

### 手つかずのビーチを シーカヤックで

奄美大島移住前にはもっぱらシュノーケリング派でしたが、島々の手つかずのビーチを楽しむシーカヤックを始めました。空港周辺のリーフ、龍郷湾内、西の方では大島海峡、宇検村の焼内湾など、住んでいても制覇できないくらい、素晴らしい場所がたくさんあるんですよ。また、毎年7月には瀬戸内町で開催されるシーカヤックマラソン大会があり、島外からも多くのシーカヤッカーが参加します\*。

\*2021年は鹿児島県在住者のみ

### Paddle on the untouched waters

I was a hundred-percent snorkeling lover, but after moving to Amami Oshima, I began sea kayaking to enjoy the untouched sea around the islands. There are so many beautiful spots that even the locals have to try really hard to visit all of them. The east area of Amami Oshima is blessed with spots such as the reef near the airport and Tatsugo Bay, while the west area has wonderful places such as Oshima Strait and Yakeuchi Bay on the coast of Uken village. Every July, a sea kayak marathon race is held in Setouchi-cho, which draws many off-island sea kayakers [for 2021, only those live in Kagoshima Prefecture are allowed to participate].



MASUMI  
YAMAKOSHI  
山腰真澄さん

東京生まれ、東京育ち。外資系戦略コンサルティング会社などに勤務し、2007年に夫と早期リタイアで奄美大島に移住。現在は、奄美群島への移住支援情報サイト「ねりやかなや」を運営。

Masumi, born and raised in Tokyo, took an early retirement from a foreign capital consulting firm with her husband and moved to Amami Oshima in 2007. She now runs a website "Neriyakanaya" for supporting those considering to move to Amami Islands.

### 大きな豆の木 童話のモデルになった

フランスの友達が奄美に初めて訪れた際に、知人に教えてもらった、奄美市住用町にあるモダマ自生地。童話『ジャックと豆の木』のモデルとなったといわれている豆の木で、奄美市指定文化財にも指定されています。神秘的で幻想的な光景が広がり、別世界を体験できるこのスポットは「ちょっと疲れたなあ」と感じたときに、おすすめです。ただし、ハブには十分に注意してくださいね。

### The model for the giant beanstalk in the famous fairytale

When a French friend of mine visited me in Amami for the first time, one of my acquaintances recommended to take her to see Modama, a kind of beanstalk which grows naturally in Sumiyo-cho, Amami-city and is said to be the model for the beanstalk in the fairy tale "Jack and the Beanstalk". The Modama natural habitat was designated as a cultural property of Amami city. In front of the magical and fantastic view, you may feel as if you came to another world. It is a really refreshing spot, but watch out for Habu pit vipers!



奄美大島出身。3才から祖父に奄美の島唄を習い、その後島唄の大会で数々の賞を受賞。2018年大河ドラマ『西郷どん』でメインテーマに歌で参加し、その圧倒的な歌唱力が話題を呼んだ。

Born in Amami Oshima, she began learning "shima-uta", the folk songs of Amami, from her grandfather when she was three years old, and won a number of prizes in shima-uta contests. In 2018, she participated as a singer in the theme tune of the Japanese historical drama TV series "Segodon", and was highly acclaimed for her impressive voice.



ANNA SATO  
里安娜さん

# Feel the air of Amami with in-flight digital service!

## 機内デジタルサービスで フライト中も奄美を感じよう!

大島紬とのコラボレーションアイテムや奄美ラッピングジェットの  
限定グッズを機内でお買い求めいただけます。  
もちろんフードやドリンクも販売しています。

Hand towels connecting the two places,  
Amami and Kansai, as with our flights.

奄美と大阪、  
二つの就航地をつなぐ  
ハンドタオル

奄美の伝統工芸、大島紬。Peachの拠点、大阪府泉佐野  
市で130年以上の歴史をもつ泉州タオル。二つの就航地  
のものづくりをつないだ限定アイテムです。

This limited-edition hand towel combines the craftsmanship of your  
place of departure and destination: Oshima tsumugi, a traditional high-  
class silk pongee in Amami, and Senshu towels having a history  
of more than 130 years in Izumisano city, Osaka, where Peach is based.



Peach × SHINTO TOWEL × 大島紬村 ハンドタオル  
ブラウン／ホワイト 各1,300円(国内線価格)  
Peach × SHINTO TOWEL × Oshima  
tsumugi Hand towel brown/white  
1,300 yen each (for domestic flights)

### MAKING STORY



誕生のきっかけは、2019年9月に奄美大島の大島紬村を訪れたときのこと。第1  
弾コラボレーション商品(※現在は完売)の開発を終えて、「次は就航地同士をつ  
なぐようなものが作れたら良いですね!」と話し合ったのでした。そしてパートナ  
ーに迎えたのは、私たちPeachと同じ泉州地域を拠点とするSHINTO TOWELさん。  
吸水性に優れ、日常的に使える泉州タオルと、絹でできた繊細な大島紬の“意外な”  
組み合わせを試してみたい!と思い、今回の企画がスタートしました。試行錯誤  
を繰り返すこと半年、ついに完成。私たちの自慢のタオルをぜひご利用ください。

The idea of this product came into our mind when we visited Oshima Tsumugimu-  
ra in Amami Oshima in September of 2019. After developing the first collaboration  
item (\*now sold out), we discussed about next producing something that would  
connect Amami and Kansai. We decided our partner to be SHINTO TOWEL based  
in the Senshu area as with Peach. Our goal was to make an amazing item from  
this surprising combination of a superabsorbent daily-use Senshu towels and  
Oshima tsumugi made of delicate silk. After six months of trial and error, we  
finally completed a perfect towel. We hope this item will further enrich your life.

"Fly Peach to AMAMI!"  
commemorative goods now available!

記念グッズが登場!  
Fly Peach to AMAMI!

かつて奄美に就航していたバニラエアの  
機体デザインを受け継ぎ、2021年3月に運  
航開始した奄美ラッピングジェット。明る  
くハッピーなイエローを見かけると良いこ  
とがあるかも? 就航を記念した限定グッズ  
は数量限定なのでお早めに!

The special Amami-version jet inheriting the  
design of airplanes of Vanilla Air once flew to  
Amami started service in March 2021. Maybe the  
bright happy yellow color of the plane will bring  
you good fortune. Limited-edition goods are now  
available to commemorate the launch. As our  
stock is limited, please do not wait to purchase it.



キャリーバッグやパソコンにぴったりなステッ  
カー2枚と、南国ムードたっぷりの限定キーホ  
ルダー(シェルホワイト)の特別3点セット。

JA08VA/JA201P ステッカー &  
キーホルダーセット 1,500円(国内線価格)

A special set including two stickers perfect for roller  
bags and personal computers and a limited-edition  
key chain with an atmosphere of tropical islands  
(shell white). / JA08VA/JA201P stickers & key chain  
set 1,500 yen (for domestic flights)

To be available in September or October



150分の1スケールの程よい大きさのモデルブ  
レーン。搭乗記念やギフトにおすすめです。特  
別にデザインされたボックス入り!

1/150スケールモデル JA08VA  
8,000円(国内線価格)

This 1:150 scale perfect-sized model plane in a spe-  
cially designed box will be a wonderful souvenir of your  
flight or an amazing gift for everyone. / 1:150 scale  
model plane JA08VA 8,000 yen (for domestic flights)

Get a taste of traveling with our online shop

オンラインショップで  
おうちでも旅気分



Peach公式オンラインショップPEACH SHOP ONLINEでは、機内  
では販売していない奄美コラボグッズをはじめ、Peachグッズが盛り  
だくさん! ぜひチェックしておうちでも旅気分を味わってください。

shop.flypeach.com または「PEACH SHOP ONLINE」で検索!

Peach's official online shop, PEACH SHOP ONLINE, offers a wide variety of  
Peach's original goods, including items produced in collaboration with peo-  
ple in Amami. Please check it out and get a taste of your trip also at home.  
Access shop.flypeach.com or search for "PEACH SHOP ONLINE"!



Enjoy your flight with food and drink!

## お食事とドリンクで フライト時間を楽しもう!

バラエティ豊かな機内食は、本誌で特集している奄美の  
郷土料理「鶏飯」などの限定メニューも取り揃えています。  
小腹が空いたときにぴったりなスナック類、コーヒーや  
お茶などのソフトドリンクもご用意しています。オーダ  
ーして、機内で至福のひとつをお過ごしください!

Our varied menu includes limited meals  
such as "Keihan", the local chicken rice in  
Amami featured in this magazine. Snacks  
are ready to be served when you feel a little  
hungry. Coffee, tea, and other soft drinks are  
also available. Please have a relaxing time  
with our foods and drinks.



ご注文は、  
機内デジタルサービス、  
もしくは私たちに  
お声がけください!

You can order from  
the in-flight digital service  
or just ask us!



アクセスはとっても簡単。詳しくはP2~3をチェック。

You can access the site easily. Check out P2-3 for details.

フライトマップやPEACH LIVEの間覧もできる機内デジタルサービスは、  
機内モードに設定し飛行中にWi-FiをONにすれば簡単にアクセス可能。

The flight map and PEACH LIVE are also included in the in-flight digital service. You can easily  
access the service in the in-flight mode or by turning on Wi-Fi during the flight.

※本誌に掲載されている機内デジタルサービスの取り扱い商品・内容につ  
いては、予告なく変更の可能性がございますのでご了承ください。実際の  
取り扱い商品については、機内デジタルサービスよりご確認ください。

The products and contents of the in-flight digital service described in  
this magazine may be changed without prior notice. For the products  
currently on sale, please see the in-flight digital service.



1. 有馬温泉

六甲山



3. 六甲山牧場



5. 神戸布引ハーブ園



6. 風見鶏の館



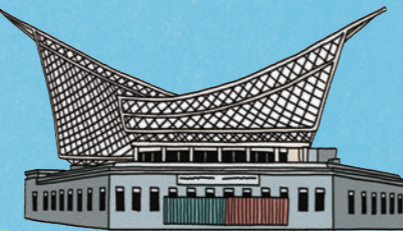
10. シティ・ループ  
循環バス



2. 六甲有馬ロープウェー



4. 王子動物園



7. 神戸海洋博物館  
カワサキワールド



8. 神戸ポートタワー



9. BE KOBE



11. 須磨海浜水族園



12. 須磨離宮公園

# Cruising travel in Kobe

## 心躍る、船の旅へ

関西国際空港～神戸空港を最短距離で結ぶベイ・シャトル。  
海を渡って、いつもとはちょっと違う旅に出よう。  
「神戸街遊券」でお得に遊べる、おすすめのスポットをマップで紹介。

Illustration = Takashi Kawakami

1. 関西の奥座敷ともいわれる温泉街。神戸中心地からもアクセスがよく、日帰りでも十分に楽しめる。  
※街遊券対象は金の湯、銀の湯、太閤の湯殿館、切手文化博物館、有馬ます池釣科。
2. 六甲山の山頂に有馬温泉を約12分で結ぶ。足元に広がる美しい自然風景、ダイナミックな眺望が味わえる。
3. 羊や牛、馬など動物たちとのふれあいに癒やされる。チーズやアイスクリーム作りの体験教室などもおすすめ。
4. 市内外から観光客が訪れる人気スポット。日本で唯一、ジャイアントパンダとコアラを同時に見ることができる。
5. 日本最大級のハーブ園はどの季節に訪れても花やハーブが咲き集う。園内を散策した後は、ぜひハーブ料理を。
6. 1904年にドイツの貿易商人の住宅として建てられた異人館。重厚なレンガ造りの外観と屋根の風見鶏が特徴。
7. 海・船・港の歴史と未来を見て触って学べる博物館。展示されている船の模型は圧巻のスケール。
8. 50年以上の歴史がある街のランドマーク。展望階から一望できる360度のパノラマは昼も夜も絶景。  
※2021年9月27日からリニューアル工事のため休館
9. 阪神・淡路大震災から20年を機に生まれたモニュメントは、メリケンパークの人気フォトスポット。
10. 三宮や元町、新神戸など主要な観光スポット17カ所を1周約65分で周遊する見た目も可愛い、便利なバス。
11. 「スマスイ」の愛称で親しまれている大人も子どもも楽しめる水族園。日本初の水族館としても有名。  
※2023年5月(予定)までは本館のみ営業
12. 皇室の元別荘を整備した噴水のある近代的な欧風庭園。兵庫県随一のバラの名所でアスレチック遊具も人気。

## 陸路よりも早く、楽しく、快適にアクセス。

関西国際空港と神戸空港間の大阪湾上約24kmを一直線に縦断する高速船ベイ・シャトル。その移動時間は片道わずか約30分。今回の神戸旅はこの船からスタートする。関空で友人と合流して、いざ優雅な船旅へ。穏やかな波に揺られてゆったりとした座席でくつろぐ時間も心地いい。海がキラキラとまぶしくて、旅への期待感が高まっていく。窓からの景色にはしゃいだあとは、お得に観光できる「神戸街遊券」が利用できるスポットをチェックしつつ「どこから遊びに行く?」と作戦会議。海から山にかけて、観光地がコンパクトにまとまっている神戸は、短期間の滞在でも丸ごと街を堪能できるところが魅力。王子動物園でパンダも見たいし、日帰りの有馬温泉も捨てがたい。胸を躍らせていると、明石海峡大橋が遠くに見えてきた。カモメに出迎えられるながら、あっという間に船着場に到着。ここから神戸空港までは歩いて5分だけど、荷物が多い人は無料バスも利用できるそう。

移動の手段や時間は、旅を充実させるための大切な要素のひとつ。海を渡る旅路は、これから向かう先でもなにかすてきなことが待っていそうな予感を与えてくれる。



関西国際空港  
⇄ 神戸空港  
30min!



関西国際空港  
Kansai International Airport

## ベイ・シャトル | Peach

1. Peach 搭乗券または予約確認書の提示で高速船の料金がちょっとお得に!
2. ベイ・シャトルのチケットを購入、かつPeachの搭乗証明になるものを見せると、神戸街遊券が無料でもらえる。

### 料金

Peachご搭乗者割引料金  
(ベイ・シャトルチケットカウンターで搭乗した証明を提示)

	一般	搭乗者割引
片道	大人 1,880円 小児 940円	1,780円 890円
往復	大人 3,060円 (※正規3,760円)	2,860円
	小児 1,530円 (※正規1,880円)	1,430円

### 期間

2021年8月1日～10月31日

### 丸ごとお得な「神戸街遊券」

ベイ・シャトルチケット購入窓口(関西国際空港内)で、乗船チケットを2枚以上購入するグループ、且つPeachの搭乗証明になるもの(搭乗券やスマホ画面)を提示すると、神戸市内44カ所での入館料としてお得に使える点数券「神戸街遊券」を1冊(1,500円相当)プレゼント。

※新型コロナウイルス対応により各施設については、入場制限、営業時間の変更、臨時休業、休館などを行っている場合がございます。各施設の公式ウェブサイトやお電話などでご確認ください。

### 動画



Peachの客室乗務員が真剣勝負! 関西国際空港から神戸空港まで“海”か“陸”のどちらのルートが早いかを検証した動画は、船内でも視聴いただけます。



### チケット購入・予約

神戸空港海上アクセスターミナルチケットカウンター/関西国際空港第1ターミナル内チケットカウンター/関西国際空港第2ターミナル内チケットカウンター

### 電話予約

078-304-0033 (受付時間9:00-18:00)

### インターネット予約

www.kobe-access.jp  
ご予約受付は90日前～出航1時間前まで。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、当面の間、減便ダイヤで運航しています。  
※台風等、荒天時は欠航する場合がございます。その場合、神戸空港～関西国際空港間、代替バスを運行いたします。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、キャンペーンを期間の変更や中止する場合があります。











# 国内路線に新しいかけ橋を!

関西—女満別 就航!

2021.7.1 就航  
大阪(関西)—女満別  
片道 5,490円~



※国際線は一部運休しています。  
最新の運航状況は公式ウェブサイトをご確認ください。

上記運賃は1席あたりのシンプルビーチ片道運賃です。国内線の運賃・料金・手数料は消費税込みの金額です。燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)はいただいておりません。支払手数料、空港使用料等が別途必要となります。手荷物のお預け、座席指定は別途料金がかかります。コンタクトセンター、空港カウンターにてご購入の場合、別途予約手数料がかかります。運賃額は空席状況によって変動し、ご購入時点で有効な金額が適用されます。運賃額・ご利用条件は予告無く変更および追加設定する場合がございます。関係当局の認可を前提としています。上記は、2021年7月1日時点の情報です。

## EDITOR'S NOTE

編集後記

旅の楽しみの一つ、食事。奄美といえば鶏飯です。8島を取材する間にどこかで食べられるだろうと高を括っていたのですが、なかなか巡り合えず。取材が長引いて飲食店が閉まってしまったり、鶏飯のお店が近くなかったり。ほぼ諦めていた最終日、ホテルの朝食がこのモヤモヤを救ってくれました。メニュー表に、和食、洋食、そして「鶏飯」の文字! 思わぬところに鶏飯チャンス到来で、最高の旅のシメになりました。皆さま、旅の食事は計画的に。

One of the pleasures of traveling is eating. Amami is famous for its chicken rice "Keihan." Although I had expected to have one sometime while touring the eight islands, I couldn't get the chance. All the restaurants were already closed after the long interview, or I just couldn't find any Keihan restaurant nearby. On the last day, when I had almost given it up, the breakfast at the hotel made my dream come true. On the menu, there were Japanese-style breakfast, Western-style breakfast, and "Keihan"! Thanks to this fortunate opportunity, my trip finally had a happy ending. When you go on a trip, don't forget to make a meal plan.



2021年7月発行  
発行人 森 健明  
発行 Peach Aviation株式会社 事業戦略室  
〒549-8585 大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地

Editors  
Yuuki Yamaguchi (euphoria factory)  
Yuho Tanaka (euphoria factory)

Producer  
Taisuke Seki (euphoria factory)

Art Director  
Erisa Yamashiro

Translator  
Chihiro Hijioka

Printer  
K. K. Fabio

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます  
※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです  
※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです  
Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.

世界は驚くほど変わった。これまでのルールは過去のものになり常識は非常識になった。けれど、大切なものは驚くほど変わらない。話す、笑う、触れる、感じる、愛でる。当たり前だったことが、どれほど貴重なことかを痛いほど感じることができた。だからこそ私たちは、大切にしたい。距離に負けることなく、顔を合わせて話すこと、五感で楽しむこと。心の赴くままに、リアルな体験を重ねること。私たちは、考える。画面越しにつながれる時代だからこそ、リアルの価値は高まっている、と。アタマよりココロが求めるものを、画面を隔てては味わえない驚きを届けたい。逆風を恐れず進もう。向かい風が強いほど、高く飛べるのだから。



peach